

平成 30 年度（2018 年度） 2 月 理事会議事録

1 日時：2019 年 2 月 14 日（木）19：07～21：03

2 場所：神奈川県作業療法士会事務所

3 理事会定数

参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・野本
遠藤・名古屋・村越・澤口・佐藤・大郷

欠席理事：作田

参加監事：田中・糊澤

その他：池田（選挙管理委員長）

4 議長団選出

議長：錠内会長

副議長：木村副会長

議事録署名人：錠内会長・野々垣理事・糊澤監事

5 資料の確認

- (1) 資料 1 各部・委員会提出資料
- (2) 資料 2 2019 年度予算案
- (3) 資料 3 事務局：互選方法内規案・後援依頼資料・積立使用願い・
エリア化アンケート
規約委員会：謝金規定
ウェブサイト管理委員会資料
- (4) 資料 4 渉外報告
- (5) 当日配布 地域リハビリテーション部：地域包括ケアシステム三士会合同研修
会
学会評議委員会：今後の学会・臨床大会の在り方について
地域包括ケアシステム推進委員会：神奈川新聞掲載記事
- (6) 回覧資料 第 15 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム 報告書
臨床工学技士会 会誌

6 審議事項

- (1) 重点課題の要旨
 - 1) 財務部
 - (ア) 2019 年度 研修会費収入予測について
3 月 15 日までに該当部署は作成。
 - 2) 福利部
 - (ア) 2018 年度県士会表彰者の選出について
候補者が絞られた。次回理事会で提案。
 - 3) 規約委員会
 - (ア) 謝金規定および役員選挙規定の改正
謝金規定の修正案の確認と役員選挙規定を定款にあわせて修正した内容を確認した。

4) 学会評議

(ア) 2020 年度臨床作業療法大会の開催について

大会長を会長、実行委員を県士会理事と部員で担い、マニュアル作成を行う。
この内容で 2 月 18 日開催予定の学会評議委員会で提案する。

(2) 審議事項の要旨

1) 学術部

(ア) 研修会費の統一について

2018 年度は各部・委員会で対応することになっていた。
2019 年度については予算が出ているので 2020 年度に向け検討した。
目的によって金額設定をしていく方向で継続審議となる。

2) 地域包括ケアシステム推進委員会

(ア) WEB 会議の導入について

無料版もあるので一度試してみる。次回理事会 1 週間前と当日に会議の招集がある。大郷理事からメールある。

3) 教育部

(ア) 臨床実習指導者講習会について

どこが主催で行うかなど情報が錯綜している。当士会としては 2019 年度 1～2 回の研修会開催を予定している。
養成校との連絡会を年度内に県士会が主催して開催する予算はある。

(3) 報告事項の要旨

1) 事務局

(ア) 研修会申し込みフォームについて

財務提案の研修会収入見込みの内容を踏まえてフォームを連絡する。

(イ) 就業規則について

質問事項を社労士に確認中。

(ウ) パソコンの見積もりについて

現在 3 社に見積もり依頼中。揃い次第理事 ML で審議を依頼する。

(エ) 4 月の理事会について

4 月 10 日三役会、4 月 25 日理事会。内容は「総会について」を予定。

2) エリア化構想準備委員会

(ア) アンケートについて

21 名の返答あり。

3) 選挙管理委員会

(ア) 役員選挙について

立候補を締め切った。現在 14 名の理事と監事ゼロ名。
理事定員の最大である 18 名まで理事会推薦の準備を進めていく。推薦の流れ等詳細は理事メールで確認。

4) 財務部

(ア) 期末監査について

4 月 13 日 (土) 理事・会計係に連絡する。

5) 教育部

(ア) 協会システムの開発遅延について

1 年遅れとなる。2019 年度中にシステムの使い方を教育部から伝達する。

6) 地域包括ケアシステム推進委員会

(ア) 2019年度の横浜市事業について
2018年度実施回数から増える予定。

7) 2019年度学会実行委員会

(ア) 演題数について

50演題を目標とし、夕方の時点で49演題集まっている。

(イ) 内容について

教育後援：運転と作業療法、認知症とQOL

特別講演：高次脳について

公開講座：ニーズ・シーズについて

上記内容で進んでいる。

7 審議事項（詳細）

(1) 事務局

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) OT協会より

ア) 47委員会開催 会長・木村副会長参加

(イ) 神奈川県内の報告

ア) 湯河原町介護認定審査会委員 推薦依頼

現在、野地育子氏（曾我病院）が担っているが2004年で退会している。

本人に確認したところ再入会し、継続したい旨連絡があった。

イ) 小田原市障害支援区分認定審査会委員

国際医療福祉大学 作業療法学科 山本潤氏（新規・会員確認済）

(ウ) 医療職連合会

ア) 栄養士会（1/25）・放射線技師会（1/18）賀詞交歓会お礼

(エ) 関係団体

ア) 第15回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム 共催お礼と報告書
2月3日付の神奈川新聞に掲載されたとのこと

(オ) その他

ア) コンセントの増設について

事務局パソコン周囲にコンセントが一つしかなく、タコ足配線になっている。

床から出すタイプもコンセントの形状が異なり、使用が困難。

コンセントの増設（3か所）とコンセントタイプの修正（2か所）で¥33,437

大家さんには了承済。

イ) 研修申し込みフォームについて

現在エクスポームを使用中。契約を更新しても現在のフォームを継続できると

のこと。財務提案の研修会収入見込みの内容を踏まえてフォームを連絡する。

ウ) 就業規則について

質問事項を社労士に確認中。

エ) パソコンの見積もりについて

現在3社に見積もり依頼中。揃い次第理事MLで審議を依頼する。

オ) 4月の理事会について

4月10日三役会、4月25日理事会。内容は総会について予定。

カ) 印鑑の作成について

公文書の作成は事務局を通すよう依頼する。公印は5つのみ(法人、会長、銀行、学会長、臨床大会長)のみであり、それ以外は公印にならない。各部の印鑑(認印)であっても、印鑑を作成する前には必ず事務局に連絡をお願いする。

キ) エリア化構想準備委員会

(a) アンケートについて

21名の返答あり。今月いっぱい締め切り。

ク) 選挙管理委員会

(a) 役員選挙について

立候補を締め切った。現在14名の理事と監事ゼロ名。理事定員の最大である18名まで理事会推薦の準備を進めていく。推薦の流れ等詳細は理事メールで確認。

(b) 意見交換

- ・定款では理事の人数が10~18名とされているが、この人数は妥当か。

(名古屋)

→2020年度の人数は、2019年度の活動を踏まえて検討する。(木村)

- ・理事会による推薦に関して、いつまでに、だれに推薦候補を伝えればよいのか。

(大郷)

- ・理事会による推薦の場合、推薦承諾証や受理証をwebにアップする必要はないのでは。(澤口ほか)

⇒選挙管理委員会は、理事会による推薦候補の立て方の詳細を決め、理事にメールで連絡すること(木村)

(2) 財務部

1) 重点課題

(ア) 2019年度 研修会費収入予測について

残りの研究会の予想金額も含めて3/15までに財務理事にメールする。追加の研修会を予定している場合も連絡する。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 期末監査について

日程: 4月13日(土)14:30~(一社)神奈川県作業療法士会 事務局

出席者: 8名(田中監事、棚澤監事、木村副会長、金山事務局長、事務局員松村氏、財務部 吉本、西村、黒木)

⇒監査の準備を早めをお願いしたい。提出書類の締め切りは4月8日(月)必着。期末監査は会計担当にもメールで連絡をする。

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

(ア) 研修会費の統一について

2018年度は各部・委員会で対応することになっていた。2019年度は予算が出ているので2020年度に向け検討した。

- ・研修会の会費を統一することのメリットは何か。また、目的によって(参加費は)変わってもいいのではないか。(大郷)

- ・誰が統一したいのか。県士会としてなのか、それとも学術部としてなのか。

(奥原)

→研修会に参加する職種が増加していく中で、「学術部開催の研修会参加費が高額なのは」という意見が出た。県士会員の利益を考えた場合、参加費が安いほうが参加しやすくなるのではないかと考えている。(佐々木)

- ・非会員と他職種の参加費に関しては妥当ではないか。仮に、会員の参加費を 2,000 円で固定した場合、全体の収入が減るため活動予算が圧迫されてしまう(現時点で研修会による収入が 300 万程度ある)。収入と支出、参加人数のバランスを保つように配慮していただけると助かる。(吉本)

→会員ができるだけ多く参加し、還元できるようにしていきたい。(佐々木)

- ・県士会として重要な研究会は低価格、個別性が高く人が集まるような研修はやや高めの参加費にするなど研修会に重みづけをしてはどうか。(大郷)
- ・状況に応じてフレキシブルに価格を設定してもよいのではないか。(澤口)
- ・標準価格を定め、基準からの土で決めてはどうか。(名古屋)
- ・(研修会参加費に)柔軟性を持たせることにもメリットがある。(澤口)
- ・会場代の削減等に対応することは可能ではないか。(澤口)
- ・参加者のニーズと研修会の内容が合致すれば、参加者は増えるはず。(大郷)
- ・(研修会に)安価で参加できることも大切だが、研修会のみが県士会の活動ではない。国とのやり取りも行っていることを会員に周知していく必要がある。

(吉本)

- ・公益業務としては市民が対象にもなる。(澤口)
- ・現状、他職種は参加しにくい設定になっていることもある。(木村)
- ・他職種の方々に来てもらうこともメリットである。他職種を呼ぶ意味は作業療法士を知ってもらうこと、地域リハ部の活動としてなど研修会の内容による。

(奥原)

⇒根拠のある価格設定を検討する。また、フレキシブルな中に参加費の基準を設ける方針とする。目的によって金額設定をしていく方向で継続審議となる。

3) 報告事項

(ア) クライシスプラン&リスク管理 (仮)

2019年3月17日(日) 藤沢市民会館

星竜平氏(訪問看護ステーションみのり横浜 作業療法士)

武井寛道氏(藤沢病院 作業療法士)

立山和久氏(久里浜医療センター 作業療法士)

参加数: 40名(予定)

(イ) 学術誌刊行事業

3月の刊行に向けて編集作業中である。新規メンバーも入っている。

(4) 教育部

1) 重点事項 なし

2) 審議事項

(ア) 臨床実習指導者講習会について

現段階では情報がないため、様子を見ながらの対応になる。協会に電話で今後の方針を確認したところ、「協会から県士会に講習会開催の依頼は出さない」との回答だった。現段階では養成校の団体で講習会の開催を希望しているところがあるなど多方面から検討中である。来年度は1~2回程度講習会を開催できればよ

いのではないか。県内の養成校の間で連絡会を開くことを検討。参加費の有無に関しても議論が続いている。仮に講師を依頼する場合、1日3人を2日間依頼するので謝金は多い。

- ・47 委員では参加費や開催回数は県士会の裁量に任せるとの情報であった。2020年には生涯教育に乗せるとの情報もあった。(錠内)
- ・予算では1回の講習会を予定している。補正予算を組むことも可能。(吉本)

3) 報告事項

(ア) 協会システムの開発遅延について

1年遅れとなる。2019年度中にシステムの使い方を教育部から伝達する。

(5) 広報部

1) 重点事項 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) ニュース

順調に年6回発行を実施できている。現状は4月号(3月末発行)を準備中。予算は要望より削減されたため、ギリギリだった。

(イ) 対外広報班

ア) 活動報告

(a) 関連職種にむけた活動

a) かながわりハビリテーション・ケアフォーラム

2019年2月2日(土) 情報文化センター情文ホール

内容：講演「災害後の障害者の地域生活～災害後にあらためて痛感した地域生活における課題」鷹嘴氏(岩手県作業療法士会理事)
茅ヶ崎市の取り組みに関する行政の報告
広報部ブースにてパンフレット配布、作業療法に関する相談等

イ) 活動予定

(a) 関連職種にむけた活動

a) 神奈川県介護支援専門員研究大会「縁・援・円 吹き続け！さがみの風」

2019年2月16日(土) 相模原市立産業会館

内容：多職種連携や地域包括ケアに関するシンポジウム・発表

→シンポジスト：相模原班 佐藤、発表者：県央班 清野

展示フロア相談ブースにてパンフレット配布や介護支援専門員との交流予定

b) 一般県民にむけた活動

リハビリフェスタ(打診中)

2019年3月24日(日) 小田原アリーナ

(6) 福利部

1) 重点課題

(ア) 2018年度県士会表彰者の選出について

過去の資料を参考に、表彰の候補者は10名まで絞られた。福利部で再検討し、3月の理事会(もしくはメール)で報告できるように進める。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

- (ア) 求人掲載(2019.1.9~2019.2.12)
新規掲載：24件、変更：4件、削除：3件
 - (イ) 学術部合同企画 会員交流会について
2019年6月16日に開催。IMS 横浜国際看護専門学校(今年度同様)を予定。
 - (ウ) 入会案内について
入会案内用チラシと会員交流会用チラシを作成。今後、養成校へ発送予定。
- (7) 地域リハビリテーション部
- 1) 重点課題 なし
 - 2) 審議事項 なし
 - 3) 報告事項
 - (ア) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
 - ア) 来年度予算案
三士会長と会議を1月28日(月)PT 県士会事務局で開催。新ST士会会長が初めての参加ため、今までの協議会の動きを含めて三士会長で確認。来年度予算案は大枠で合意。
 - (イ) 介護予防普及展開事業アドバイザー
 - ア) 1月31日県主催事業報告会
アドバイザーとして遠藤理事、オブザーバーとして1名参加。各市町村、福祉事務所の担当者参加。
⇒来年度以降全市町村で地域ケア会議開始予定
 - イ) 3月22日県主催研修会「介護予防従事者基礎研修」
連絡のみで特に運営や講師はしない予定。
 - (ウ) その他
 - ア) 介護予防従事者研修会実施報告(県主催)
相模原会場、横浜会場合わせて200程度参加あり。
 - イ) 栄養士会研修会へ講師派遣
介護予防普及展開事業で専門職として関わっている栄養士会から遠藤理事へ講師依頼の話があり。3月21日開催予定で現在準備中とのこと。
 - ウ) 学童保育×作業療法、地域(子ども)スキルアップ研修会(岡山県学童保育連絡協議会)の後援
2019年年2月17日(日)10:00~17:00
参加費：3,000円
内容：学童保育(地域における子どもの生活)と作業療法士連携についてなど
- (8) 規約委員会
- 1) 重点課題
 - (ア) 謝金規定および役員選挙規定の改正
謝金規定の修正案の確認と役員選挙規定を定款にあわせて修正した内容を確認した。
 - 2) 審議事項 なし
 - 3) 報告事項 なし
- (9) 学会評議委員会
- 1) 重点課題

(ア) 2020 年度臨床作業療法大会の開催について

2 月 18 日に学会評議員を開催予定である。前回までの議題であった大会長および学会長の選出と会場について三役提案で検討してもらう。

ア) 意見交換

- ・大会長は公募し、立候補が無ければ会長が大会長になる。(野々垣)
 - ・臨床大会はメンバー集めも大変である。運営の方法の大枠は伝え、決定事項と自由裁量の部分のバランスを決め、学会評議員がマニュアル作成を行う必要がある。(名古屋)
 - ・公募ではなく、学術部や教育部から(大会長や学会長を)出してもいいのでは。(澤口)
 - ・大会長や学会長は本来名誉なことなので、バックアップをして「大会長をやりたい」と思ってもらえるようにする必要がある。(佐々木)
 - ・公募の内容はプレゼンテーションし、理事会で承認といった流れになる。(木村)
 - ・先に大会長を決めなければならない。適任者や立候補者がいない場合、会長が務めるということでいいのか。(大郷)
 - ・県士会としての運営の方向性は決める必要がある。(錠内)
 - ・大会長の募集はこれから提案できるよう、公募の条件。の明示が必要。(野々垣)
 - ・大会長は組織作りと運営が大変である。これらを県士会がバックアップすることが、大会長が立候補しやすくなる条件の一つである。(名古屋)
 - ・理事会でスタンダード作りを行う。(錠内)
 - ・業者に委託したシステムは、演題登録だけでなく、査読用に処理された書類の作成まで担ってくれるため便利である。(佐々木)
 - ・外部に委託した場合、予算はどれくらいかかるのか。(田中)
 - ・三団体で利用しているものは 80 万円程度で収めてくれる。(木村)
 - ・スタンダード作りをするならば、2020 年度の臨床大会は大会長を会長とし、メンバーは理事と部員で行うのはどうか。(野本)
 - ・参考までにコンベンションマニュアルもある。(木村)
 - ・WFOT のマニュアルもある。(澤口)
- ⇒理事の中では賛成が多いことも含めて学会評議員に持ち帰り、審議する。

(10) 地域包括ケアシステム推進委員会

1) 重点課題 WEB 会議の導入について

「Zoom」は web 上での会議を開催する際に 50 名以上の参加が可能であり、音声が遅れるなどのタイムラグも生じにくい。また、映像や音声だけでなく、word や PDF などの資料も画面上で共有できるため、実際に会議室に集まったかのように会議が可能。さらに、会議ごとに URL を発行するため、匿名性にも優れている特徴を持つ。無料版もあるので一度試してみる。

- ・web 会議の導入に必要な設備は何か。(錠内)
 - PC もしくはタブレット端末、スマホなどカメラがついているデバイスであれば利用可能である。別に外付けのマイクも利用することもある。
- ・職場の PC を利用しているので、特定のアプリやソフトを DL することは難しい。(澤口)
 - 会議ごとに URL が発行されるので、アプリ等の DL は不要である。
- ・実際 web 会議で会議を行ったことのある理事はどれくらいいるのか。(木村)
 - 使用したことのない理事が 7 割程度。

- ・費用は参加者の数だけかかるのか。(名古屋)
→無料版もあるが、料金が発生するものについてもアカウント1つ分の料金で運用することができる。
- ・時間や頻度の制限はあるのか。(野々垣)
→頻度の制限はなし。無料版は1回40分の会議が開催可能である。
- ・收音はどの程度クリアになるのか。(錠内)
→マイクの性能による。
- ・web会議の場合も、会議費は出したい。サインのもらい方など規定を作る必要がある。(金山)
- ・議決権の有無についても検討が必要か。(錠内)
→web会議であっても参加とみなされるため、傍聴ではなく「参加」扱いとする。ただし、理事会がweb会議を導入した場合の内規を作る必要がある。
- ・web会議を開催する場合、事務局wi-fiをオープンにするなど環境を整えていく必要がある。(名古屋)
- ・web会議用のURLをどのように連絡するか。(佐々木)
→理事会の1週間前と当日に担当からMLで配信する。今回のデモ時は大郷理事から連絡する。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 2019年度の横浜市事業について

横浜市事業は今年度のOT派遣が62件に増加(昨年42件, 1.5倍)。

(1 1) 県学会について

1) 演題数について

50演題を目標とし、夕方の時点で49演題(チャレンジ19演題, 一般30演題)が集まっている。(佐々木)

2) 内容について

教育後援: 運転と作業療法、認知症とQOL

特別講演: 高次脳について

公開講座: ニーズ・シーズについて

上記内容で進んでいる。(吉本)

(1 2) 渉外報告

1) 公益社団法人 神奈川県病院協会 平成31年度新年賀詞交換会 2019年1月16日

2) 神奈川県病院関係団体連絡協議会意見交換会 2018年10月17日

3) 神奈川県放射線技師会新春情報交換会 2019年1月18日

4) 医療職連合会理事会 2019年1月23日

5) 神奈川県栄養士会賀詞交換会 2019年1月25日

6) 神奈川県臨床検査技師会賀詞交換会 2019年1月11日

8. 次回理事会日時・場所

(1) 三役会開催日 2019年3月7日(木) 19:00~

(2) 理事会開催日 2019年3月22日(金) 19:00~

(3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上(文責: 池田・金山)

議事録署名人

議長： 錠内 広之
理事： 野々垣 睦美
監事： 榑澤 直美

印
印
印